

発議第3号

離島架橋の早期実現を求める意見書の提出について

地方自治法第99条の規定による別紙意見書を会議規則第13条の規定により提出する。

令和7年6月23日 提出

令和7年6月 日

提出者 鳥羽市議会議員 山 本 欽 久

賛成者 鳥羽市議会議員 倉 田 正 義

賛成者 鳥羽市議会議員 五十嵐 ちひろ

賛成者 鳥羽市議会議員 世 古 雅 人

賛成者 鳥羽市議会議員 瀬 崎 伸 一

賛成者 鳥羽市議会議員 濱 口 正 久

賛成者 鳥羽市議会議員 戸 上 健

賛成者 鳥羽市議会議員 木 下 順 一

賛成者 鳥羽市議会議員 坂 倉 広 子

賛成者 鳥羽市議会議員 尾 崎 幹

## 離島架橋の早期実現を求める意見書

鳥羽市には、美しい自然と豊かな海の幸に恵まれた答志島、坂手島、菅島、神島の4つの有人離島があります。特に、面積・人口が最大である答志島には、島内に3集落が所在し、鳥羽市総人口約16,000人の約10%にあたる約1,600人の島民が暮らしています。

一方で、鳥羽市における離島と本土との交通手段は、海上交通に頼らざるを得ず、このことは、離島住民全員の生命や生活に大きな影響を及ぼしています。

このように、離島における地域格差の根源は、ひとえに交通基盤が船舶に依存せざるを得ないという海上交通の脆弱性にあります。

昨今は、就学や就労の際には、その交通の不便性からやむを得ず島外へ出ていく選択を取る事例が後を絶たないことに加え、高齢化の進行により増加している救急搬送時や、災害時等における緊急搬送の面においては、常に大きな不安を抱いています。

離島住民たちが培ってきた歴史・文化の保全と伝統の継承、さらに自然環境に配慮しながら、離島の発展はもとより、鳥羽市、伊勢志摩地域を含む三重県南部の観光交流や地場産業の活性化をはじめとした地域活性化及び住民の生命と生活を確保する生活道路として、離島架橋の実現は欠かせません。

平成21年10月には三重県議会において「離島架橋の早期実現に関する請願」も全会一致で採択されていることに加え、この度の意見書については世帯加入率72.1%である鳥羽市自治会連合会からの請願を受けての提出であることから、市民の合意形成は図られていると考えます。

離島架橋実現には、多額の経費が必要ではありますが、生命と生活の安全・安心を願う離島住民の切なる想いをご賢察の上、国及び関係機関におかれましては、離島架橋実現の推進について、さらに積極的かつ具体的な取り組みを進めていただき、早期に実現されますよう強く要望致します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月23日

三重県鳥羽市議会

|        |        |   |
|--------|--------|---|
| 衆議院議長  | 額賀 福志郎 | 様 |
| 参議院議長  | 関口 昌一  | 様 |
| 内閣総理大臣 | 石破 茂   | 様 |
| 内閣官房長官 | 林 芳正   | 様 |
| 総務大臣   | 村上 誠一郎 | 様 |
| 財務大臣   | 加藤 勝信  | 様 |
| 国土交通大臣 | 中野 洋昌  | 様 |